

部活動大会結果

12月～2月上旬まで 題字/2年6組 堤内真弥

陸上競技部

- 第53回熊本県高等学校クロスカントリー大会
 - 女子 中・長距離の部 第3位
 - 女子短距離・跳躍・投てきの部 2Km 優勝 梶原 由絵(1-1)
- 城南地区新人駅伝競走大会
 - 区間賞 3区 山田 夏未(2-1)
 - 4区 田中友里絵(2-3)

吹奏楽部

- 第16回熊本県高等学校吹奏楽部新人コンクール 金賞
- 第8回 JBA ソロコンテスト熊本県大会
 - 金管楽器部門 (県代表)金賞 山田 幹人(2-2)
 - 九州大会出場(宮崎県/2月24日)
- 第2回全日本高等学校管打楽器ソロコンクール 優良賞 山田 幹人(2-2)

科学部

- 平成24年度九州高等学校生徒理科研究発表大会 優良賞 武藤 祐介(2-6)

書道部

- 第19回熊本県高等学校書道紙上展 大賞 堤内 真弥(2-6)
- 大賞 小野 亜純(1-3)

演劇部

- 第61回熊本県高等学校演劇大会 優秀賞 演目「それはいえない」

個人

- 第25回熊本県高等学校総合文化祭「標語」選考 最優秀賞「絶対青春」 井上 拓海(2-6)
- 第14回高校生小論文コンクール個人部門 奨励賞「言葉が世界を救う」 山辺 雅(2-1)

センター試験出発式



3年学年主任 木田 敦巳

平成二十五年度大学入試センター試験に向けて二百六人の出発式を行いました。

出発式当日は、天気は良かったが風が肌寒く、校長先生より激励の言葉をいただき、これから試験に向けて、『がんばるぞ』という気持ちでバスに乗り込みました。

見送りに、たくさんの先生方、センター試験を受験しない三年生、それに二時間目の授業中にも関わらず、二年生も見送りに出て来てくれ、たくさんの方の応援をいただき力強く出発することができました。

皆さんのご期待に添えるように、三年生として最後まで進路決定に向けて頑張ります。ありがとうございました。



校内ダンス発表会の様子

しかし、最後には以前より強い絆を感じることができましたし、ダンスリーダーとして大人数をまとめることの難しさを学びました。県立劇場では、天高生としての振る舞いや行動や品格といった、勉強ではな

く人間として大切な社会常識をみんなも学んでくれたことと思います。応援してくれた友人や支えて下さった先生方に心から感謝申し上げます。

今回、熊本県ダンス発表会に2年2組女子で参加させて頂きました。2学期からダンスの授業で創作してきた振り付けでしたが、校内ダンス発表会で天高代表として出場することが決まり、ガラリと変えることにしました。本格的に練習を始めたのは1月下旬からで、クラスのみならずには迷惑をかけてしまいました。ダンステーマは「等身大の私達」恋、友達、悩みと絆でした。練習期間中には、私が求めるものと違っていたり、行動面で泣いたり怒ったりとテーマ通りの物語がありました。

今回このボランティアに参加して、様々な遊びを楽しむ親子の姿を身近で見ることができてうれしかったです。

会場には手作りのポウリングや魚釣りなどのゲームが用意されており、私たちはその遊びのサポートをしました。遊びに夢中になっている子どもたちの目が生き生きと輝いていて、その元気に姿に私もパワーをもらいました。スタッフの方々による「童謡」、「歌遊び」、「紙芝居」などを親子で一緒に見たり歌ったりしている姿にほのぼのとした気持ちになりました。このような素敵なイベントのサポートをすることができ、とても貴重な体験だったと感じています。

学んだことを今後の生活や将来に是非、生かしていきたいです。



2年2組 七田 千紘

第63回 熊本県高等学校 ダンス発表会

ボランティア

今回このボランティアに参加して、様々な遊びを楽しむ親子の姿を身近で見ることができてうれしかったです。

会場には手作りのポウリングや魚釣りなどのゲームが用意されており、私たちはその遊びのサポートをしました。遊びに夢中になっている子どもたちの目が生き生きと輝いていて、その元気に姿に私もパワーをもらいました。スタッフの方々による「童謡」、「歌遊び」、「紙芝居」などを親子で一緒に見たり歌ったりしている姿にほのぼのとした気持ちになりました。このような素敵なイベントのサポートをすることができ、とても貴重な体験だったと感じています。

学んだことを今後の生活や将来に是非、生かしていきたいです。



2年1組 上元 彩花

第64回 ボランティアに参加しました!

初めてこのようなボランティアに参加し、世界中の貧しい人々や困っている子どもたちのために募金活動をしている方々がこんなにいるのだと知り、驚きました。また、販売している中で多くの方がカレンダーを購入してくださりとても嬉しかったです。最後に集まった全ての募金をユニセフ協会の方が「これが優しさの重みだよ。」と言って持たせて下さったことがとても印象に残っています。

この貴重な体験を生かしこれからもボランティア活動の募集がありましたら積極的に参加していきたいと思いをしました。



2年6組 福田 志那

今回ユニセフカレンダー募金の販売ボランティアに参加しました。

● 熊本県ユニセフ協会の第12回カレンダー募金ボランティア実施日...2月2日(日)

● 場所...熊本市交通センター

● 2年生8名参加

育鵬とは

「育鵬」の由来から...

「育鵬」にながて行く。

明治四十二年、天草分校が済々養から独立し、天草中学校となります。それから十年経った大正八年に三綱領と校歌ができました。

三綱領の主旨にあたる国家有為の人材になろうという目的は今も昔も価値あるもの。実は三綱領と同じ意味が「育鵬」にも込められているのです。育鵬という言葉は老荘思想の「莊子」からとった言葉であります。莊子の中に、中国の殷という国が有り湯王という王様が大臣から話を聞いた。「北冥に大きな湖があつてそこに大きな鯨(こん)という魚がいた。鯨のおおきさたるや何千里あるか分らない」「その大きな魚は化けて鵬という大きな鳥になつた」「その鳥が、ある時羽ばたいて九万里の上空に飛び上がつて南を目指して飛んでいった。南に向かつて飛ぶと

は何か。中国漢民族の起こりは黄河流域、今の北京が北の方です。そこに住む人たちのとつて南は実はユーロピアだったのです。南は温暖な気候、食料豊富、素晴らしい地域である。当時の中国人人々にとつてみれば、南は「理想の天地」を意味したわけですね。そこから「育鵬」の言葉ができたわけですね。

鵬(おおとり)は大きな志をもつての意味と解します。それ以来、南を目指すという事は大きな志をもつこととされる。このように君達の年代には、大きな志を持つという目標はとても大切な事とされたのです。

天高の正門に立つた時、育鵬橋と出会います。その橋の欄干に刻まれた「鳳凰の大鳥」と「育鵬の文字」をご存知ですか。天草中学校の先生が「莊子」から「育鵬」という言葉を持ってきた事は寓意：(ことよせる) 粋な計らいがあつたのではという気がしてならないのです。

「未来へ飛び立つ鵬たち」

堀田善久氏記念講演の記事より引用 広報委員会

第26回 吹奏楽部 定期演奏会のご案内

吹奏楽部 2年3組 田島 未和子

3月17日(日) 開場午後1時30分 開演午後2時

天草市民センターホール 入場無料

私たち吹奏楽部は、今年度も昨年度に続き、「熊本県吹奏楽コンクール」、「新人コンクール」において金賞を受賞することができました。その集大成として定期演奏会を開催いたします。

第一部コンクール曲を含めた「クラシックステージ」

第二部は「OB・OGステージ」

第三部ポピュラーソングで構成された「ポップステージ」

世代を問わず楽しんで頂ける内容となっております。

日頃お世話になっている皆様へ感謝の気持ちを込めて、精一杯演奏します。皆様のご来場を部員一同心よりお待ちしております。

この時期の受験対策は 保護者に向けた

どうすればいいの?

進級前にこのおへんきゅうな、

高1のうちにやっておくべきことは、大きく分けて2つあります。

1. 将来の職業について調べる・考える・話し合う

将来の職業について調べたり考えたりする時間が一番取りやすいのは、高1です。漠然としていても良いので、将来の目標を描いていけば、高2で志望大・学部を決める際にも考えやすくなります。改めて話しづらい場合は、食事時など、ふだんの会話のなかでさりげなく進路について話題にしてみましょう。子どもに「考えるきっかけ」を与えることが大切です。

2. 将来学びたい学問について調べる・考える・話し合う

大学や専門学校などでは、どんなことが学べるのか、自分はどうなことに興味があるのかをじっくり考えられるのは高1のうち。ぜひ、進級前に調べたり考えたりさせておきましょう。志望大・学部を焦って決めるよりも、まずは世の中にある学問を広く知り、視野を広げさせるようにしたいものです。

受験勉強は何かから始める?

受験勉強と聞くと、何か特別なことをしなければならぬと考える方が多いようですが、日々の学習の延長上に大学入試がありますので、まずは、子どもに学習習慣を身につけさせることが重要です。

これまでに自学自習の習慣があまり身につけていない子どもの場合、高3の4月までに、毎日決まった時間に机に向かうという習慣を身につけさせましょう(そのためには、親子で話し合い、夕食や入浴といった生活リズムをなるべく一定にする工夫も必要です)。

受験勉強は、教科書の章末問題を復習したり、これまでに受けた模試の復習をするなど、高1・2で学んだことの復習から始める子どもが多いようです。

また、英単語やイディオム、古語などは、二朝一夕で知識が蓄積できるものではないため、高2のうちに取り組み始めた方がよいでしょう。

※ネッセコーポレーションホームページより引用